



双葉中学校通信

No.9(2023.10.4 発行)

[文責:澤田隆文]

# あま かわ べ 天の川辺

教育目標 **心を磨き、体技を磨き、夢・志をもって挑戦し続ける自分をめざそう**  
～努力を積み重ねる誠実さと情熱、しなやかな心で、可能性は無限大～

目指す生徒像 **自分の将来に夢を抱き、自分の力を社会に生かそうとする志をもった双中生**

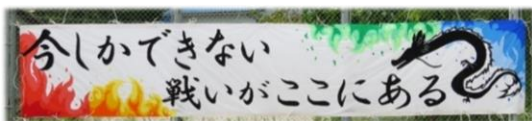
双葉中学校ホームページ  
はこちらから



## 絆を深めた体育大会「今しかできない戦いがここにある」

9月26日(火)、秋の空気に包まれる中、第77回体育大会を開催しました。早朝から、多くの保護者、地域の皆様には、あたたかい声援と見守りをいただきありがとうございました。

今年のスローガン「今しかできない戦いがここにある」の実現に向け



て、双中生一人ひとりががんばる姿が見られ、感動する場面がたくさんありました。

各学級の応援席の前には、各クラスの応援パネルが一同にならびました。いずれの学級のパネルも、担当の生徒の皆さんの工夫とアイデアが詰まっていました。陸上競技種目では、一人ひとりが自己ベストや大会記録更新を目指して全力を尽くしました。このような中で、2年女子200m走に出場した田里日菜梨さんが、昭和62年以来となる大会記録を見事更新しました。おめでとうございます。

団体種目でも、双中生の情熱と意気が感じられました。生徒会種目「大縄跳び」では、各クラスでかけ声を工夫し、練習の成果が発揮されていました。生徒会で独自にルールを考えた「障害物リレー」は内容が工夫され、各クラスの応援も盛り上がりました。

生徒の皆さんは、仲間と力を合わせ、仲間とともに決して一人では達成できない感動を味わうことができたのではないかと思います。一生懸命に取り組むことは、自分にとっても仲間にとってもたいへん価値があることで、尊いことです。特に3年生の皆さんは、中学校生活最後の体育大会で、後輩に「仲間」の素晴らしさを伝える姿を見せてくれました。バトンをつないでいく姿、仲間の希望を背負ってゴールするアンカーの姿に感動させられました。仲間と一緒にだから「ともに笑顔や悔しさを味わえた」と実感できる一日になったのではないのでしょうか。

観覧いただいた保護者・家族の皆様も、子どもたちの成長を実感していただけたのではないのでしょうか。子どもたちは、個人としても集団としても、大きく成長することができたと思います。ご声援ありがとうございました。





## 2 学期の学校生活の抱負!



2 学期の目標は二つあります。

一つめは受験に対する意識をしっかりとって、提出物の遅れをなくすことです。日々の積み重ねが受験の時の力になると思うので、積極的に朝勉や残勉に参加していきます。また、時間を効率よく使うことで、毎日の生活を充実させていきたいです。

二つめは、学校行事を全力で楽しむことです。三年生にとっては、中学校でクラスが一丸となって取り組む最後の行事になります。大縄跳びや全員リレーなど、みんなで盛り上がるができる種目がたくさんあるので、クラスの仲間との関係を深めながら、全力で楽しみたいです。また、最上級生として、後輩の見本となる力強い走りや応援を見せられるように、自分自身の努力も続けていきたいです。(3 年生徒代表 横田大成さん)

僕は、一学期には、学級委員や合唱コンクールの指揮者として積極的に取り組むことができました。合唱コンクールの直前には、クラスに団結力が見られるようになり、仲間とともに完全燃焼できてよかったです。学習面では、授業で積極的に発表ができました。私語が目立つときもあったので、二学期は、みんなで授業態度をよくしていきたいです。また、テスト期間中に計画的に学習を進められるようになりたいです。

夏休みは、部活動の練習量が増え、暑くなってとてもきつかったですが、体力がついたのでよかったです。勉強も計画的に進められました。中学生になって課題も増えたので、これからも計画的に進められるようにします。

二学期になってからは、部活動で秋季大会があるので、練習に励んでいきたいです。勝利を目標として悔いの残らないようにし、仲間とがんばっていきたいです。

(2 年生徒代表 河下結詩さん)

## 自己を成長させ、「ポジティブ感情」と「レジリエンス」を育もう!

8 月下旬に開催された市内運動部活動の新人大会では、3 年生からバトンを受け継いだ 2 年生、1 年生が大活躍しました。大会後には「悔しい思いを忘れずに練習する。」や「練習成果を発揮できるようにし先輩に追いつきたい。」といった言葉が聞かれました。

運動部員であるかどうかにかかわらず、子どもたちは、毎日の学校生活を過ごす中で、いろいろな気持ちを感じて生活しています。このような中で、心身の健康を保ちつつ健やかに成長していくために、「逆境(苦しい状況)に負けないしなやかでたくましい心」を育むことがますます欠かせなくなっています。

成長期にある子どもたちは、五感(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚)に優れており、とても感性が豊かだと言われます。しかし、感じていることを言葉で分かりやすく説明できる表現力を十分には持ち合わせていない中学生も少なくありません。思春期特有の感情をどう扱ってよいかわからず混乱してしまうこともあります。ですから、自分の気持ちを整理し、自分の気持ちとうまく付き合うことが大切です。

感情には、大きく分けると「ポジティブ感情」と「ネガティブ感情」があります。「ポジティブ感情」は、「うれしい」、「楽しい」、「安心」、「ワクワクする」などの心地よい気持ちです。一方、「ネガティブ感情」は、「悲しい」、「不安」、「怖い」、「イライラする」などの居心地のよくない気持ちと言えます。

日々変わる自分の気持ちとうまく付き合うためには、特に「ネガティブ感情」への対応力が大切です。生徒の皆さんには、逆境や困難、強いストレスなどに直面したときに適応できる精神力、さらには、悩みや苦しみから回復しようとするしなやかでたくましい

力を身に付けてほしいと願います。

これらの力は「レジリエンス」と呼ばれています。大会直後から自分たちの課題を考え、その課題を解決していこうとする生徒の皆さんの姿勢には、しなやかでたくましい精神力を感じます。これからも、さまざまな学習活動を通して、困難な状況を克服しようとする力を育てていきたいと思えます。

さて、この「レジリエンス」の力には、4 つの大切な要素があり、それぞれの力を育むことで、自分の内面を鍛えることができるとも言われます。

- ①心の支えになる家族やあたたかな友人(先輩や後輩も含めて)とよりよい人間関係をつくる力
- ②自分の強みや弱みを知り、「自分の長所」を生かして自分に自信をもつ自己肯定感
- ③「自分ならきっとできる」と自分の力を信じることのできる力

④身の回りのことを肯定的に受け入れようとする力  
これからの社会は変化や多様性に富み、見通しをもつことが難しい環境になることが想像できます。一人ひとりが、自分なりに自己を成長させ、困難を乗り越えていこうとする力を育てていってくれるよう心から願っています。



来春入学予定の児童・保護者の皆様へ  
スマホで新制服を見てみよう!

右QRコードで無料アプリをダウンロードしていただくと、新しい制服に自分を当てはめ着用イメージを確認していただくことができます。ぜひ、ご利用ください。

